

総合報道
発行所 株式会社総合報道
本社 東京都新宿区高田馬場2-13-8
電話 (03)5287-1255
(発行日 5-15-25日)

市全域で屋上広告を禁止

条例案の市民意見を募集 芦屋市

全国でも有数の高級住宅街で知られる兵庫県・芦屋市は、市全域で屋上広告の禁止方法を盛り込んだ屋上広告条例の骨子案をとりまとめ、13日から市民意見の募集を開始した。締切りは8月17日まで。施行となれば、アドバルーンやLEDの使用も全面的に禁止となるほか、色彩で原色使用も原則不可となる上、広告面の文字の大きさも1平方メートル以下に制限される。全国で最も厳しいと言われる京都市の条例と同様、エリアによっては、それ以上の規制が敷かれることとなる。今後は、10月に募集結果を公表、12月に市議会へ提案、施行は平成28年4月頃になる見通し。

とされるほか、壁面突出広告は地面から高さが低く、片面1平方メートル程度の小型以外は設置できなくなる。壁面広告は、他自治体のように建築物の壁面全体に対して何分の1の制限ではなく、広告主が占用している店舗の壁面積をもとに算出した表示面積に限定される。一方、緩和措置として、

芦屋市は、六甲山や芦屋川など豊かな自然環境に恵まれた閑静な住環境を守るため、平成21年、全国に先駆け、市内全域を景観地区に指定。昨年には景観行政団体へと移行し、独自条例の制定を見据えた骨子案をこのほど取りまとめた。今回示された案によると、これまで4種類に分かれていた規制地域を9つに細分化。各地域の特性を考慮した誘導を図る。具体的には、禁止地域

千葉市は、協同工芸社(社長 熊谷市)に対し、千葉市所一助金事業計画認定に係る千葉市協同工芸社(本社千葉市、箕輪 有梨)企業立地促進事業補助認定通知書交付式を1日午前10時、千葉市内で行われた交付式



社会との関わりを重視 定村俊満氏

「顧客に問題提起できる」「コミュニケーション能力が重要」。二ヶシーズン能力が重要。二ヶシーズン能力が重要。二ヶシーズン能力が重要。



福岡県北九州市出身。1951年生まれ。現在、協同工芸社(本社千葉市)の代表取締役社長。趣味は釣りで河川を主戦場とする。大学時代から続くバンドのリーダー。地元のLive&喫茶「照和」でもライブの前座を経験したこともある。

重要です。最後に、悪い部分を解消させるための提案を行う。ただし、トップと語る方は、経験と知識を積み重ねたか否かの違い。これを実践できた社員は数人ですが、現在の会社でも言い続けている事業哲学です。

MULTIframe ヨーロッパ製
TEL:03-3267-8734
www.penguin.ad

今日の紙面
2 埼玉協第21回総会
新理事長に楠尚人氏
4 デザイン団体年度賞
NDF、DSA、東京ADC各賞決まる
5 朝日新聞社
工事現場仮囲いに夏目漱石

神広美/神奈川県 官民合同の屋外広告・景観勉強会 京都の適正化と組合連携紹介など

(二社)神奈川県広告美術協会(神広美 末廣 芳和会長)と神奈川県は、第2回官民合同屋外広告・景観勉強会を6月26日午後1時から、鎌倉市大船の鎌倉芸術館で開催。当日は、県内自治体の担当者や神広美協会員ら、総勢約70人が出席した。勉強会は4部構成で、冒頭、進行役の神奈川県



千葉市内で行われた交付式

千葉市は、協同工芸社(社長 熊谷市)に対し、千葉市所一助金事業計画認定に係る千葉市協同工芸社(本社千葉市、箕輪 有梨)企業立地促進事業補助認定通知書交付式を1日午前10時、千葉市内で行われた交付式

協同工芸社が、今回認定された千葉市の企業立地促進事業補助額は、約4000万円。補助対象施設は工場及び附属設備(クレーン等)で、延べ床面積は1979.58平方メートル。設備投資計画額は2億4000万円。補助対象並びに補助予定期間は、(1)固定資産税・都市計画税相当額に対する補助(平成28年度・32年度)、(2)雇用奨励補助(スタートアップ・フォローアップ型)28年度、31年度。操業開始は今年10月10日(予定)。同社は、県トップクラスの事業規模を誇り、近年は技術開発に注力。昨年度は関東経済産業局の「特定研究開発等計画(第31回)」で、アクリル

屋外広告物講習 会8月28日開催
久留米市は、福岡県、北九州市、福岡市と合同で「平成27年度屋外広告物講習会」を8月28日(日)午前9時50分から久留米市・久留米商工会館5階大ホールで開催する。申込み期間は、8月7日(金)から20日(木)まで。下記問い合わせ先に、受講申請書に必要事項を記載の上、直接持参または郵送で申込む(郵送の場合は20日必着)。一部免除者の場合は、資格証明書の写真も同封する。講習手数料は2000円(申請書に福岡市収入印紙を貼付)。【問い合わせ】福岡市住宅都市局都市景観室(092-711-439)

Slim eco ディーライン LEDを看板・間接・棚下照明へ 省エネ・コスト削減・省資源・廃棄物削減
フンス電機株式会社 TEL.045(501)4722 FAX.045(501)4730